

第4学年 音楽科学習指導案

日 時 令和7年6月18日 5校時

13:15～14:00

対 象 第4学年1組 20名

指導者 教諭 小林 奈津子

1 題材名 「せんりつのとくちょうを感じ取ろう」(5時間扱い)

2 題材の目標

- 曲想及びその変化と、旋律などの音楽の構造との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った音楽表現をするために必要な音色や響きに気を付けて、リコーダーを演奏する技能を身に付ける。
【知識及び技能】
- 音色、旋律、強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら、曲全体を味わって聴いたりする。
【思考力、判断力、表現力等】
- 旋律の特徴を生かした表現を工夫し、友達と協働して演奏したり聴いたりする学習にすすんで取り組む。
【学びに向かう力、人間性等】

3 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 曲想と旋律の表れ方、反復との関わりについて気付いている。(器楽)	① 旋律、音色を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。(器楽)	① 問題の発見や解決に向かって、自分のもち味を生かして挑戦し、主体的に取り組もうとしている。 (器楽・鑑賞)
② 思いや意図に合った表現をするために必要な音色や響きに気を付けてリコーダーを演奏する技能を身に付けている。(器楽)	② 音色、旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いている。(鑑賞)	② 旋律の特徴を生かした表現や曲のよさを味わって演奏したり聴いたりする活動を楽しみながら、主体的・協働的に器楽や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 (器楽・鑑賞)
③ 曲想及び変化と旋律、強弱、反復との関わりについて気付いている。(鑑賞)		

4 題材について

(1) 指導内容

本題材では、音楽を特徴付けている要素の一つである旋律に着目し、その特徴を聴き取ったり、それらによって生まれる曲想を感じ取ったりしながら、表現と鑑賞の活動を進める。旋律の音の上がり下がりや強弱との関わりや、スタッカートとレガートなどが生み出す旋律の特徴に気づき、それにふさわしい表現の仕方を工夫できるように指導する。

そのような表現を工夫する中で、器楽では、タンギングと息の使い方に気を付けてリコーダーを演奏する技能を身に付ける。また、鑑賞では、聴き取り感じ取った旋律の特徴や曲想を言葉で表すなどして、それを友達と共有し合いながら、曲や演奏のよさを見いだし、曲全体を味わって聴くことができるようにする。

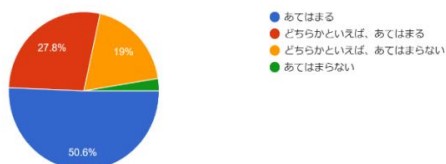
(2) 創造的な資質・能力の素地を重点的に育成する単元として設定した理由

地域や家庭の人々との交流を通して、自ら考え、判断し、行動できる力を高めてほしいという保護者の願いや、笑顔とあたたかさあふれる未来を創り出す力を育ててほしいという地域社会の要請を踏まえ、本校では、育成を目指す創造的な資質・能力を「未来を切り拓く力」とし、児童がもち味を生かして挑戦できる学習として本単元を設定した。

5 児童の実態

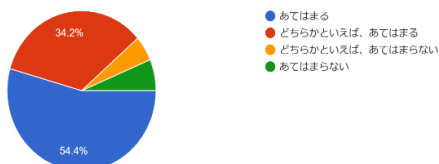
本学級の児童は、第1学年から継続して指導している。第1学年での鍵盤ハーモニカの学習の導入、第3学年でのリコーダーの学習の導入の際には、どちらも「息の入れ方」「タンギング」「音色」に重きを置いて指導してきた。リコーダーや鍵盤ハーモニカの器楽の学習において、「息の入れ方」と「音色」には、密接な関わりがある。これまでの学習では、レガートでの演奏のみだったが、本題材では、初めてスタッカートの演奏に取り組む。

Q4 タブレットたんまつでじょうほうをしゅう集し、自分の考えをまとめ、発表することができる。
79 件の回答



タブレット端末の活用については、約 20%の児童ができていないと感じている。本題材では積極的に活用する場面を設定し、自信をもって活用できるようにする。他者と考えを共有する場面に ICT を活用することで、児童が考えを広げることができるようにする。

Q14 自分の持ち味（よさ）を生かして、ちょう戦しようとしている。
79 件の回答



もち味を生かして挑戦しようとしているかについては、約 88%の児童が肯定的に自己評価している。題材を通して、教員が肯定的、前向きに、具体的な言葉で賞賛し、価値付けることで、児童が更に関心をもち味に気付くことができるようにする。

【児童アンケート調査 令和6年12月実施 第3・4学年 79人】

6 創造的な資質・能力の素地を育成する視点

旋律の特徴を生かした表現を工夫し、友達と協働して演奏したり聴いたりする学習を通して、問題の発見や解決に向かって、自分のもち味を生かして挑戦し、主体的に取り組もうとする態度を身に付けることができるようにする。

7 創造的な資質・能力の素地を育成するための指導の手だて

(1) 個別最適な学びと協働的な学び

めあての達成に向けて、児童が学習プロセスを選べるようにすることで、児童が自分のもち味を生かして挑戦し、主体的に取り組もうとする態度を身に付けることができるようにする。

(2) ICT等の活用

ICTを活用して他の児童の考えを他者参照できるようにすることで、早く課題を終えた児童が自身の考えと比較したり、課題が進まない児童が他者の考えを参考にして取り組んだりすることができるようにする。

(3) 振り返りの充実

児童のよい考えや行動を教員が価値付けることを通して、児童が自分のもち味に気付くことができるようにする。

8 指導計画

時	学習過程	◆評価規準 【観点】(方法)
1 ～ 4 (本時)	○主な学習活動 ★創造的な資質・能力の素地を育成するための手だて ○旋律の特徴や曲のまとまりを感じ取る。 ○旋律の特徴を生かして演奏する。 ○お互いの表現を聴き合い、曲想にふさわしい演奏のよさを感じ取る。 ★個別最適な学びと協働的な学び【指導の手だて(1)】 めあての達成に向けて、児童が学習プロセスを選べるようにすることで、児童が自分のもち味を生かして挑戦し、主体的に取り組もうとする態度を身に付けることができるようにする。 ★ICT等の活用【指導の手だて(2)】 ICTを活用して他の児童の考えを他者参照できるようにすることで、早く課題を終えた児童が自身の考えと比較したり、課題が進まない児童が他者の考えを参考にして取り組んだりすることができるようにする。 ★振り返りの充実【指導の手だて(3)】 児童のよい考えや行動を教員が価値付けることを通して、児童が自分のもち味に気付くことができるようにする。	【知】①②(発言・演奏聴取) 【思】①(発言・演奏聴取・記述) 【主】①②(発言・行動観察)
5	鑑賞(白鳥) ○主な旋律と伴奏の特徴を聴き取り、様子を思い浮かべながら聴く。 ○旋律の特徴や音色などが生み出す曲や演奏のよさを味わって聴く。 ★ICT等の活用【指導の手だて(2)】 ★振り返りの充実【指導の手だて(3)】	【知】③(発言・記述) 【思】②(発言・記述) 【主】①②(発言・行動観察)

9 本時の指導（全5時間中の第3時）

（1）目標

旋律の特徴の違いやタンギングに気を付けて、リコーダーを演奏することができる。

【知識及び技能】

（2）展開

	○主な学習活動 ・予想される児童の反応	◆評価規準【観点】（方法） ★創造的な資質・能力の素地を育成するための手だて ※指導上の留意点
導入	○楽曲の、アとイでの、旋律の特徴の違い、演奏の順番を復習し、本楽曲のめあてを知る。 せんりつのとくちょうや、タンギングに気を付けて、リコーダーを演奏してみよう。	※「陽気な船長」をリコーダーで演奏することを伝える。
	○前時の学習を振り返る。	※数人の児童の振り返りを紹介する。
展開	○学級全体で演奏する。 ○児童一人一人がめあてを決め、オクリンクプラスに入力する。 ・指づかいを覚えたい。 ・タンギングに気を付けて吹きたい。 ・息の入れ方の違いに気を付けて吹きたい。 ○「陽気な船長」の1パートをリコーダーで練習する。練習形態と手段を自分で選ぶ。 【練習形態の選択肢】 ・一人で練習する。 ・ペアで練習する。 【練習手段の選択肢】 ・一人ずつ練習する。 ・お互いの演奏を聴き合う。 ・動画を撮影して、自分の演奏を客観的に聴く。 ・タブレットで、演奏のお手本を聴く。 ・先生に質問する。	※演奏の姿勢を整え、タンギング、息の入れ方、運指、休符に気を付けさせる。 ※ア（スタッカート）とイ（レガート）の息の入れ方の違いを意識させる。 ※曲想を生かして、一音一音丁寧に演奏するよう伝える。 ※児童のめあてを、学級全体で共有する。 ★ICTを活用して他の児童の考えを他者参照できるようにすることで、早く課題を終えた児童が自身の考えと比較したり、課題が進まない児童が他者の考えを参考にしたり取り組んだりすることができるようにする。【指導の手だて（2）】 ※練習は、自由進度学習で進める。 ※児童の音楽ファイルには、楽譜と、練習手段の一覧プリントを見開きで入れておく。 ※ホワイトボードには、拡大した楽譜を貼っておく。 ★めあての達成に向けて、児童が学習プロセスを選べるようにすることで、児童が自分のもち味を生かして挑戦し、主体的に取り組もうとする態度を身に付けることができるようにする。【指導の手だて（1）】 ★児童のよい考えや行動を教員が価値付けることを通して、児童が自分のもち味に気付くことができるようにする。【指導の手だて（3）】 ◆旋律の特徴の違いを捉え、息の入れ方や、タンギングに気を付けてリコーダーを演奏している。【知・技】（発言・演奏聴取）
振り返り	○学級全体で演奏する。 ○楽器の片付けをする。 ○児童自身が設定しためあての振り返りを、オクリンクプラスに入力する。 ○次時の学習の確認をする。	※次時も、引き続き練習していくことを伝える。 ※各自で入力したあとには、友達の見解も参照し、学びを深める。 ※数人の児童の振り返りを紹介する。